

# 地方創生関係交付金 事業シート

## 第3回八戸市総合計画等推進市民委員会

令和2年12月21日

八 戸 市

## 事業シート目次

No. 1	八戸都市圏の食ブランドを活かした広域連携による稼ぐ力強化事業（推進）	…… P 3
No. 2	八戸スポーツビジネス創生事業（推進）	…… P 8
No. 3	八戸産ぶどうを活用したワイン産業の創出による地域活性化事業（推進）	…… P 14
No. 4	はちのへ空き家再生事業（推進）	…… P 17
No. 5	はちのへマチナカ活性化プロジェクト（推進）	…… P 20
No. 6	蕪島エントランス整備事業（拠点）	…… P 25

## 事業シートの見方

### No.〇 □□□□事業（推進・拠点）

※事業名と地方創生推進交付金（推進）または、地方創生拠点整備交付金（拠点）のどちらを活用したか記載しています。

#### 1. 事業概要

担当部署：△△△△課

目的	※本事業の目的を記載しております。					
事業期間	平成〇〇年度～令和〇年度（〇年間）					
令和元年度実績額	総事業費：〇〇〇〇千円（うち国費：〇〇〇〇千円） ※千円以下は切り捨て					
交付金事業の取組及び実績	【令和元年度の取組】 ※本事業に関する取組及び実績を記載しております。					
K P I	KPI	事業開始前	H29 年度 増加分	H30 年度 増加分	R1 年度 増加分	KPI 増加分の 累計
	〇〇〇〇 (〇)	〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 —	〇〇〇 〇〇〇
	〇〇〇〇 (〇)	〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 —	〇〇〇 〇〇〇
	〇〇〇〇 (〇)	〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 —	〇〇〇 〇〇〇
	〇〇〇〇 (〇)	〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 —	〇〇〇 〇〇〇
	〇〇〇〇 (〇)	〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 —	〇〇〇 〇〇〇
※上段：目標値 下段：実績値						

担当部署 評価	<p>※担当部署において、凡例を基に4段階の評価をしております。</p> <p><input type="checkbox"/>①地方創生に非常に効果的であった    <input type="checkbox"/>③地方創生に効果があった</p> <p><input type="checkbox"/>②地方創生に相当程度効果があった    <input type="checkbox"/>④地方創生に対して効果がなかった</p>
担当部署 評価理由	<p>※上記の評価をした理由を記載しております。</p>

## 2. 本事業の「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における位置付け及びKPI

基本目標○○○○○

【施策△】□□□□

個別施策××××

※本事業が「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標、施策及び個別施策のどこに位置付けられているか記載しております。

○\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\* (各年\*月\*日)

H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R1(実績)	R2
*****	*****	*****	*****	(R2調査)	*****

※太枠内が最新の調査結果、R2が目標値です。

※本事業と関連する「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のKPIを記載しております。

## 3. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった

委員メモ欄
-------

(評価の凡例：選択肢)

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

## No.1 八戸都市圏の食ブランドを活かした広域連携による稼ぐ力強化事業（推進）

### 1. 事業概要

担当部署：広報統計課、観光課、  
水産事務所

目的	関係人口を増やし、関係性を深化させることによって、確度の高い顧客を確保するとともに、若年層、働く世代の当圏域への移住・定住、食ブランドの販路拡大による地域活性化とそれらの相乗効果による八戸都市圏の「稼ぐ力」の強化を図ることを目的とする。
事業期間	平成 29 年度～令和 3 年度（5 年間） ※横展開タイプ ※REGAIN GROUP(株)より、企業版ふるさと納税を活用した 200 万円の寄附金を受納した(1/31)ことで、事業期間を 2 年間延長するインセンティブを受けた。
令和元年度実績額	総事業費：30,068 千円（うち国費：15,034 千円）
交付金事業の取組及び実績	<p>【参考】</p> <p>（平成 29 年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸都市圏アンテナショップ設置の開設に向けた調査 総事業費：13,932 千円</li> </ul> <p>（平成 30 年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸都市圏 DMO 設立に係る費用（法人統合等に係る業務委託料）</li> <li>・八戸地域地場産業振興センター展示スペース改装事業</li> <li>・関係人口（八戸都市圏ファンクラブ・在京同窓会）形成・PR, チラシ作成等</li> <li>・（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザプロモーション戦略策定業務等</li> <li>・（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザ実施設計</li> </ul> <p style="text-align: right;">総事業費：54,686 千円</p> <p>【令和元年度の取組】</p> <p><b>①八戸都市圏ファンクラブ会員促進 PR 等事業【広報統計課】</b></p> <p>【概要】：八戸圏域に興味・関心を持つ方が集うファンクラブを運営することにより、圏域情報の発信、八戸都市圏交流プラザでのファン同士の交流等を通じて、ファンと圏域とのつながりを深め、地元への印象・イメージや愛着・誇りを高めることで八戸圏域を直接・間接に応援する人々を増やす。</p> <p>【実績】：圏域情報等の記事作成業務委託や、「スクラム 8」LINE アカウント PR 用のチラシやショップカードの制作等を実施</p> <p>【事業費】：5,363 千円</p> <p><b>②鯖サミット in 八戸事業【水産事務所】</b></p> <p>【概要】：青森県内第 1 位の観光入込客数を誇る施設「八食センター」と連携し、八食センター内特設会場にて「鯖サミット in 八戸」を開催する。</p> <p>【実績】：開催日：令和元年 11 月 2 日（土）、3 日（日）</p> <p>出店数：36 団体</p> <p>来場者数：約 3 万 5 千人</p> <p>【事業費】：4,000 千円</p>

**③（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザ PR 事業【観光課】**

【概要】：首都圏において集客力の高いイベントに（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザで予定している飲食メニューや物販を提供するブースを出展し、キャンペーンを効果的に実施することで、（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザの首都圏での認知度を高め、効率的なプロモーションを図る。

【実績】：VISIT はちのへに補助金を支出し、都内飲食店向け食材展示会を3回開催

【事業費】：89 千円（食材購入費）

**④（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザホームページ作成【観光課】**

【概要】：（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザのホームページを作成し、八戸都市圏の魅力を全国に発信する。

【実績】：業務委託により、ウェブサイトを構築し、現在公開中

【事業費】：1,496 千円

**⑤（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザ開設 PR チラシ作成【観光課】**

【概要】：（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザの開設をPRするためのチラシを作成し、各イベント時で配布する。

【実績】：業務委託により、PR 用チラシを 30,000 部作成

【事業費】：495 千円

**⑥（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザ賃借料【観光課】**

【概要】：（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザに係る賃借料及び物件仲介手数料

【事業費】：3,352 千円

**⑦地域商社事業【観光課】**

【概要】：圏域の魅力ある四季折々の地域産品を首都圏のレストラン等へ1つのパッケージ（混載）にして配送する仕組みを構築することで、地場産品の販路拡大等に取り組む。

【実績】：様々な食材を混載できる配送資材を作成し、首都圏への試験輸送を8回実施

【事業費】：1,547 千円

**⑧インバウンド受入体制強化事業【観光課】**

【概要】：当圏域における受入環境の更なる強化を図るため、海外向け情報発信や横丁店舗のメニューの多言語化などによる圏域内事業者の受入体制強化に取り組む。

【実績】：VISIT はちのへで外国人専門人材を雇用し、各種取組を実施

【事業費】：2,224 千円

**⑨DMO 経営戦略マーケティング推進事業【観光課】**

【概要】：専門人材による組織運営、マーケティングの効果的な活用、戦略の立案や地域のブランディング等に取り組む。

【実績】：VISIT はちのへで DMO の運営に関する専門人材を活用し、各種取組を実施

【事業費】：3,500 千円

**⑩DMO ホームページ作成事業【観光課】**

【概要】：英語版圏域紹介ページを構築し、観光誘客・物産振興につなげる。

【実績】：業務委託により、VISIT はちのへ英語版ウェブサイトを構築し、現在公開中

【事業費】：1,400 千円

**⑪（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザ整備工事【観光課】**

【概要】：継続的に地域を応援してくれる関係人口（八戸都市圏ファン）の形成・深化を図り、八戸圏域の魅力を発信する拠点となる施設を整備する。

【実績】：内装工事に係る設計監理業務を委託にて実施

※開発事業者の工事遅延により、内装工事の着手が 3 月となったため、工事費（63,400 千円）は、翌年度へ繰越

【事業費】：6,600 千円

（参考：令和 2 年度の取組）

- ・（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザ整備工事（繰越分）
- ・（仮称）八戸都市圏わくわく交流プラザ事業
- ・八戸都市圏スクラム 8 ファンクラブ形成・PR 事業
- ・海外販路拡大事業
- ・八戸圏域版 DMO「VISIT はちのへ」連携事業

総事業費：133,442 千円

K P I	KPI	事業開始前	H29 年度 増加分	H30 年度 増加分	R1 年度 増加分	R2 年度 増加分	R3 年度 増加分	KPI 増加 分の累計
	食料品製造 業製造品出 荷額(千円)	135,009,010	132	7,500	57,600	120,000	120,000	305,232
			15,988,500	-7,163,550	-2,751,420	—	—	6,073,530
	地場産品商 談成立件数 (件)	0	10	12	13	57	49	141
			24	20	21	—	—	65
	八戸市ホーム ページ(観光) アクセス数 (PV)	1,529,508	306,000	400,000	440,000	495,000	495,000	2,136,000
			930,492	419,360	35,437	—	—	1,385,289
八戸都市圏フ ァンクラブ会員 数(人)	0	0	1,000	2,200	3,300	4,400	10,900	
		0	559	711	—	—	1,270	
※上段：目標値 下段：実績値								
担当部署 評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった							
担当部署 評価理由	目標値に達しなかった KPI はあるものの、これまでの累計においては、一部の KPI を除き順調に推移している。また、「稼ぐ力」強化の核となる八戸都市圏交流プラザ（8 base）については、JR の本体工事遅延に伴い内装工事が年度を跨ぐことになったが、その他 PR 事業等のソフト事業を着実に実施したことにより、概ね事業の目的となる成果が得られたとみなせるため。							

## 2. 本事業の「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における位置付け及び KPI

### 基本目標 1 多様な就業機会を創出する

#### 【施策 1】 地域産業の成長・発展

#### 個別施策③ 販路の拡大と八戸港の物流機能の強化

#### ○製造品出荷額等（数値目標）

八戸市（各年集計）

H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R1	R2
5,127 億円	5,380 億円	5,341 億円	5,691 億円	(R3 調査)	5,050 億円

※太枠内が最新の調査結果、R2 が目標値です。

### 基本目標 2 新しい人の流れをつくる

#### 【施策 3】 八戸ツーリズムの推進

#### 個別施策① 観光ブランドの強化と誘客の推進

#### ○市観光ホームページアクセス件数（KPI）

八戸市（各年度集計）

H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R1(実績)	R2
206,037PV	480,973PV	2,463,044PV	2,882,404PV	2,917,841PV	3,000,000PV

※太枠内が最新の調査結果、R2 が目標値です。

### 3. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

① 地方創生に非常に効果的であった

② 地方創生に相当程度効果があった

③ 地方創生に効果があった

④ 地方創生に対して効果がなかった

委員メモ欄
-------

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合



## No.2 八戸スポーツビジネス創生事業（推進）

### 1. 事業概要

担当部署：スポーツ振興課、長根屋内スケート場、  
駅西区画整理事業所、公園緑地課

目的	<p>八戸中心街付近に立地し、国際規格を備えた「長根屋内スケート場（公設公営）」と、八戸駅西地区に立地し、アイスホッケーリンクを中心に多目的に利用できる「八戸多目的アリーナ（民設民営）」の整備に伴い、飲食、宿泊、観光等周辺産業への経済波及効果や雇用創出効果の起爆剤となるよう、地域の実情を踏まえた十分な検証を行い、投資以上の経済効果を地域にもたらすインフラとして、最大限活用されることを目的とする。</p>
事業期間	<p>平成 29 年度～令和 3 年度（5 年間） ※先駆タイプ</p>
令和元年度実績額	<p>総事業費：180,975 千円（うち国費：90,487 千円） （H30 年度からの繰越分）事業費：151,990 千円（うち国費：75,995 千円）</p>
交付金事業の取組及び実績	<p>【参考】</p> <p>（平成 29 年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内スケート場の運営方法等に関する調査</li> <li>・氷都パワーアッププロジェクト</li> </ul> <p style="text-align: right;">総事業費：25,584 千円</p> <p>（平成 30 年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氷都パワーアッププロジェクト</li> <li>・多目的アリーナを核とした八戸駅西地区のエリアマネジメントと地域活力創出に向けた調査</li> <li>・スポーツ推進計画策定等委託料</li> <li>・移住・定住・シティプロモーション</li> <li>・屋内スケート場 NTC（ナショナルトレーニングセンター）開設設備整備事業</li> </ul> <p style="text-align: right;">総事業費：93,015 千円</p> <p>【令和元年度の取組】</p> <p>①YS アリーナ八戸 竣工記念イベント開催事業【長根屋内スケート場】</p> <p>【概要】：セレモニー等の式典と国内アーティストを招聘した記念コンサートを実施する。</p> <p>【実績】：開催日：令和元年 8 月 24 日</p> <p style="text-align: center;">来場者数：約 1 万人</p> <p>【事業費】：33,801 千円</p> <p>②YS アリーナ八戸 オープニングイベント開催事業【長根屋内スケート場】</p> <p>【概要】：Y S アリーナ八戸の竣工及び開業にあわせたオープニングイベント等の実施により、国際規格を備えた屋根付きスピードスケート場である Y S アリーナ八戸を国内外に P R する。</p> <p>【実績】：開催日：令和元年 9 月 29 日</p> <p style="text-align: center;">来場者数：約 2 千人</p> <p>【事業費】：1,458 千円</p>

### ③産学官スポーツ科学連携事業【長根屋内スケート場】

【概要】：スポーツ連携協定に基づく八戸学院大学と八戸市の連携のもと、Y Sアリーナ八戸を拠点としたスポーツ振興、地域住民の交流や健康増進を図る「産学官スポーツ科学連携事業」を行う。

【実績】：○先進事例視察

福島県いわき市 いわき FC パーク（商業施設併設型クラブハウス）外 2 件

○実証事業の企画、実施

→幅広い層への健康プログラム 1 件 2 回 延べ 16 名参加

○ターゲットを絞ったプログラム

→高齢者向け、女性向け、子ども向けなどのセミナー、教室

4 件 9 回 延べ 43 名参加

○食関連企業とのコラボ事業

→カフェの新メニュー企画及びマーケティング調査（実証イベント）

※実証イベントは新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○スポーツ合宿、誘致の企画

→車いすバスケットボールチームの合宿誘致、施設利用、宿泊などの検証

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○サテライトキャンパスの運営、利活用

【事業費】：1,802 千円

### ④氷都八戸パワーアッププロジェクト【スポーツ振興課】

【概要】：「氷都八戸」を標榜する当市のシンボリックなスポーツであるスケート競技について、競技人口の増加と競技力の向上を図ることを目的として、スポーツ教室等の各種事業を展開する。

【実績】：○市主催スケート教室の開催（全 9 回、210 名参加）

○スケート教室への指導者派遣（延べ 195 名派遣）

○小学生へのスピードスケート靴等の無料貸し付け

○中学生へのスピードスケート靴・アイスホッケースティック購入補助（30 人）

【事業費】：1,957 千円

**⑤ 八戸駅西地区におけるアイスアリーナを核としたまちづくり事業**

**【駅西区画整理事業所】**

**【概要】**：多目的利用可能な通年型アイスアリーナである「FLAT HACHINOHE」が2020年春に開業を控える中、2018年度に実施した八戸駅西地区賑わい交流拠点形成エリアマネジメント導入検討調査に引き続きエリアマネジメントを実施する。

**【実績】**：○シンボルロード周辺関係者等による意見交換会の開催（3回実施）

→シンボルロード沿線の地権者及びX S M社により開発意向等の情報交換

○八戸駅西地区まちづくりセンター準備会議（高校生を含む220名登録）開催

→学識経験者等によるコアメンバー会議（7回実施）

→コアメンバーの他、一般メンバー等による全体会議（3回実施）

○市制施行90周年記念事業の実施（8月17日）

→駅前交通広場で3×3バスケットボールのプロリーグの試合を実施

**【事業費】**：総事業費 10,559 千円（うち交付金対象経費 10,000 千円）

**⑥ スポーツコミッション設立事業【スポーツ振興課】**

**【概要】**：平成30年度に策定した「八戸市スポーツ推進計画」に基づき、本市におけるスポーツの成長産業化を図るため、各種実証事業や調査を行いながら、民間主導のスポーツコミッションの設立の検討を行うほか、Y S アリーナ八戸と FLAT HACHINOHE をはじめとする氷都八戸を代表するスポーツ施設について、国際大会等の大型イベントの誘致や、スポーツ合宿の誘致に向け、「稼ぐ」施設利用を促進するためのPR事業を行う。

**【実績】**：八戸市スポーツビジネス実証業務（委託事業）

(1)スポーツコミッション設立準備事業（類似団体等の事例調査、関係団体との戦略会議の開催）

(2)スポーツの成長産業化関連事業

・アカデミー事業実証（マルチスポーツ スケート実践）

・受入基盤整備事業実証（「おもてなし飲食店ガイド」配付）等

**【事業費】**：14,399 千円

**⑦ YS アリーナ NTC 関連設備整備事業【長根屋内スケート場】**

**【概要】**：オリンピック代表選手等トップアスリートの練習場であるN T C（ナショナルトレーニングセンター）としての活用を図る。

**【実績】**：トレーニングマシン（バイク）、プレート・ダンベル類、スライドボード等トレーニング機器一式の整備

**【事業費】**：19,904 千円

**⑧多目的アイスアリーナ設備導入補助金【スポーツ振興課】**

【概要】：建物外部のプロジェクションマッピングと壁面LEDビジョンを設置することで、八戸駅構内からも景観を楽しむことが可能となる等、八戸駅西地区のランドマークとして機能させることにより、さらなる誘客やまちの賑わいを促進する。

【事業費】：49,580 千円

**⑨FLAT 八戸隣接広場整備事業【公園緑地課】**

【概要】：八戸版官民連携スマート・ベニューを推進していくため、FLAT HACHINOHE の開業に併せ、FLAT 八戸隣接広場の整備を行う。

※一部工事と植栽工事については、翌年度へ繰越（52,259 千円）

【事業費】：48,072 千円

【平成 30 年度からの繰越分】

**⑩多目的アイスアリーナ設備導入補助金【スポーツ振興課】**

【概要】：通年型アイスリンクに関する設備（移動式断熱フロア等）導入に対して補助による支援を行う。

【事業費】：151,990 千円

（参考：令和 2 年度の取組）

- ・YS アリーナ八戸 産学官スポーツ科学連携事業
- ・氷都パワーアッププロジェクト
- ・八戸駅西地区エリアマネジメント導入推進事業
- ・FLAT 八戸利用促進事業
- ・スポーツコミッション設立事業
- ・FLAT 八戸隣接広場整備事業

総事業費：371,235 千円

K P I

KPI	事業開始前	H29 年度増加分	H30 年度増加分	R1 年度増加分	R2 年度増加分	R3 年度増加分	KPI 増加分の累計
スポーツ施設利用者数（人）	989,212	2,500	2,500	73,500	195,000	45,000	318,500
		61,409	132,398	-38,009	—	—	155,798
プロスポーツ観戦者数（人）	36,131	2,000	4,000	15,000	29,000	29,000	79,000
		27,067	-3,534	-2,439	—	—	21,094
八戸多目的アリーナ入場料等収入（千円）	0	0	0	10,000	760,000	50,000	820,000
		0	0	0	—	—	0
八戸多目的アリーナ稼働率（%）	0	0	0	0	92.7	3.6	96.3
		0	0	0	—	—	0

※上段：目標値 下段：実績値

担当部署 評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった
担当部署 評価理由	<p>令和元年度の KPI の実績は、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ施設利用者数、プロスポーツ観戦者数ともに前年度より減少し、また、多目的アリーナの建設工事遅延によるオープン延期により、目標値には届かなかった。しかしながら、国際大会が開催できる国内 3 つ目の YS アリーナ八戸が開業したことにより、今後の各種スケート大会開催や大規模コンベンション等の誘致につながるほか、多目的利用が可能な通年型アイスリンクの整備や八戸駅西地区のエリアマネジメントを進めることで、FLAT HACHINOHE を核としたスマートベニューの推進に寄与したことから、概ね事業の目的となる成果が得られたとみなせるため。</p>

## 2. 本事業の「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における位置付け及び KPI

基本目標 2 新しい人の流れをつくる

【施策 2】アート・スポーツ・中心市街地活性化による交流拡大

個別施策② 地域スポーツの活性化

個別施策③ 中心市街地のにぎわい創出

○社会増減率（数値目標）

八戸市（各年集計）

H27(実績)	H28(実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2
-0.34%	-0.36%	-0.30%	-0.49%	<b>-0.36%</b>	現状より改善

※太枠内が最新の調査結果、R2 が目標値です。

○観光客入込数（数値目標）

八戸市（各年度集計）

H27(実績)	H28(実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2
691 万人	663 万人	661 万人	639 万人	<b>654 万人</b>	740 万人

※太枠内が最新の調査結果、R2 が目標値です。

○当市を活動拠点とするスポーツチームの観客数（KPI）

八戸市（各シーズン毎の集計）

H27(実績)	H28(実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2
45,764 人	61,206 人	63,198 人	59,664 人	<b>51,451 人</b>	72,000 人

※太枠内が最新の調査結果、R2 が目標値です。

## 3. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった

委員×E欄

(評価の凡例：選択肢)

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

### No.3 八戸産ぶどうを活用したワイン産業の創出による地域経済活性化事業（推進）

#### 1. 事業概要

担当部署：農業経営振興センター

<p>目 的</p>	<p>八戸市の主要農産物の1つである葉たばこの生産が、たばこ需要の減少により縮減していることから、平成26年5月に市の附属機関として「八戸市南郷新規作物研究会議」を創設し、その会議の検討の結果、国内市場が拡大傾向にあり、ぶどうの生産、ワインの製造、物流及び販売等裾野が広く、飲食業等の既存の民業への波及効果の高いワイン産業の創出により、付加価値の高い農業の振興による地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>
<p>事業期間</p>	<p>平成30年度～令和2年度（3年間） ※横展開タイプ</p>
<p>令和元年度実績額</p>	<p>総事業費：3,070千円（うち国費：1,535千円） （H30年度からの繰越分）事業費：50,000千円（うち国費：25,000千円）</p>
<p>交付金事業の取組及び実績</p>	<p>【参考】 （平成30年度実績） ・八戸市ワイン需要拡大プロジェクト ・八戸市ワイン産業創出支援事業 ・八戸市ワイン用ぶどう雨よけ施設整備支援事業 <span style="float: right;">総事業費：16,780千円</span></p> <p>【令和元年度の取組】</p> <p><b>①八戸市ワイン需要拡大プロジェクト</b></p> <p>【概要】：市内のワイン需要の拡大や人材育成のため、八戸ワインフェス、八戸ワイン産業振興セミナー及び八戸ワインカレッジ等の市民向けのイベントを開催する。</p> <p>【実績】：○八戸ワインフェス2019（5/19開催） ○市制施行90周年記念八戸ワインフォーラム（5/19開催） ○八戸ワイン産業振興セミナー （第1回：6/26、第2回：8/28、第3回：11/28開催） ○八戸ワインカレッジ （第1回：9/14、第2回：9/21、第3回：9/28、第4回：10/5開催）</p> <p>【事業費】：1,774千円</p> <p><b>②八戸市ワイン産業創出支援事業</b></p> <p>【概要】：ワイン用ぶどうの生産量の増大による農業振興を目的に、市内農業経営体のワイン用ぶどうの苗木の購入に要する経費を補助する。（補助率1/2以内）</p> <p>【事業費】：補助金交付額 1,295千円（苗木1,737本分）</p>

	<p><b>③八戸市ワイン用ぶどう雨よけ施設整備支援事業</b></p> <p>【概要】：ワイン用ぶどうの品質の向上による農業振興を目的に、市内農業経営体のワイン用ぶどうの雨よけに必要なビニール等の購入に要する経費を補助する。 (補助率 1/2 以内)</p> <p>【事業費】：補助金交付額 0 円</p> <p>【平成 30 年度からの繰越分】</p> <p><b>④八戸市ワイナリー創出支援事業補助金</b></p> <p>【概要】：ワイナリーの整備に対して、補助金による支援を行う。</p> <p>【事業費】：補助金交付額 50,000 千円 ※6/17 八戸ワイナリー竣工</p> <p>(参考：令和 2 年度の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸ワイン需要拡大プロジェクト</li> <li>・八戸市ワイン産業創出支援事業</li> <li>・八戸市ワイン用ぶどう雨よけ施設等整備支援事業</li> <li>・ワイン用ぶどう生産講習会の開催</li> </ul> <p style="text-align: right;">総事業費：4,386 千円</p>																																				
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">KPI</th> <th style="width: 10%;">事業開始前</th> <th style="width: 10%;">H30 年度 増加分</th> <th style="width: 10%;">R1 年度 増加分</th> <th style="width: 10%;">R2 年度 増加分</th> <th style="width: 10%;">KPI 増加分の 累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">八戸産ワイン等販売数量 (本)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">10,900</td> <td style="text-align: center;">18,800</td> <td style="text-align: center;">29,800</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3,350</td> <td style="text-align: center;">3,349</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">6,699</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">八戸産ワイン用ぶどう生産数量 (kg)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2,753</td> <td style="text-align: center;">8,940</td> <td style="text-align: center;">17,268</td> <td style="text-align: center;">28,961</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4,742</td> <td style="text-align: center;">4,782</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">9,524</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ワインツーリズムによる誘客数 (人)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">146</td> <td style="text-align: center;">292</td> <td style="text-align: center;">474</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">190</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">190</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上段：目標値 下段：実績値</p>	KPI	事業開始前	H30 年度 増加分	R1 年度 増加分	R2 年度 増加分	KPI 増加分の 累計	八戸産ワイン等販売数量 (本)	0	100	10,900	18,800	29,800	3,350	3,349	—	6,699	八戸産ワイン用ぶどう生産数量 (kg)	0	2,753	8,940	17,268	28,961	4,742	4,782	—	9,524	ワインツーリズムによる誘客数 (人)	0	36	146	292	474	0	190	—	190
KPI	事業開始前	H30 年度 増加分	R1 年度 増加分	R2 年度 増加分	KPI 増加分の 累計																																
八戸産ワイン等販売数量 (本)	0	100	10,900	18,800	29,800																																
		3,350	3,349	—	6,699																																
八戸産ワイン用ぶどう生産数量 (kg)	0	2,753	8,940	17,268	28,961																																
		4,742	4,782	—	9,524																																
ワインツーリズムによる誘客数 (人)	0	36	146	292	474																																
		0	190	—	190																																
担当部署 評価	<p><input type="checkbox"/>①地方創生に非常に効果的であった    <input type="checkbox"/>③地方創生に効果があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>②地方創生に相当程度効果があった    <input type="checkbox"/>④地方創生に対して効果がなかった</p>																																				
担当部署 評価理由	<p>一部の KPI (八戸産ワイン等販売数量等) は、目標値に達しなかったものの、ワイン需要の拡大や人材育成のためのイベント、並びにワイン用ぶどうの生産量増大に向けた取組等を実施することにより、概ね事業の目的とする効果が得られたとみなせるため。</p>																																				



## 2. 本事業の「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における位置付け及び KPI

基本目標 1 多様な就業機会を創出する

【施策 1】 地域産業の成長・発展

個別施策① 農水畜産業の競争力強化

○農業産出額（数値目標）

八戸市（各年集計）

H27(実績)	H28(実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R1	R2
144.4 億円	147.0 億円	149.0 億円	<b>147.9 億円</b>	(R3 調査)	<b>153.2 億円</b>

※太枠内が最新の調査結果、R2 が目標値です。

○製造品出荷額等（数値目標）

八戸市（各年集計）

H27(実績)	H28(実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R1	R2
5,127 億円	5,380 億円	5,341 億円	<b>5,691 億円</b>	(R3 調査)	<b>5,050 億円</b>

※太枠内が最新の調査結果、R2 が目標値です。

## 3. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

①地方創生に非常に効果的であった

②地方創生に相当程度効果があった

③地方創生に効果があった

④地方創生に対して効果がなかった

委員メモ欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

## No.4 はちのへ空き家再生事業（推進）

担当部署：市街地整備課

（令和元年度は建築住宅課所管）

### 1. 事業概要

<p>目 的</p>	<p>近年、全国的に増加し問題となっている空き家について、地元企業（不動産・IT 企業）のほか、PR 効果と情報発信力を期待できる地元スポーツチームと連携し、空き家に対する住民意識の醸成や効果的な PR を図りながら、空き家利活用の促進等に取り組み、空き家再生の成功事例を生み出すとともに、地域経済の活性化及び地域スポーツの振興を図ることを目的とする。</p>
<p>事業期間</p>	<p>平成 30 年度～令和 2 年度（3 年間） ※横展開タイプ</p>
<p>令和元年度実績額</p>	<p>総事業費：39,699 千円（うち国費：19,849 千円）</p>
<p>交付金事業の取組及び実績</p>	<p>【参考】 （平成 30 年度実績） ・空き家再生事業業務委託</p> <p style="text-align: right;">総事業費：49,122 千円</p> <p>【令和元年度の取組】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p><b>空き家再生事業業務委託</b></p> <p>(1)空き家の実態調査及びデータベースの作成</p> <p>【概要】：空き家の実態調査を実施し、空き家の基本データを収集してデータベースを構築する。実態調査は、空き家再生を図ることによって一定の効果が見込める地域（中心市街地周辺等）を対象として実施する。</p> <p>【実績】：令和元年度調査地区：吹上、長者</p> <p>(2)空き家ポータルサイトの運営</p> <p>【概要】：空き家バンク機能を有するほか、空き家の利活用等に関する各種情報を掲載し、空き家の利活用希望者等に対しワンストップで対応できる空き家ポータルサイトを運営。</p> <p>（参考：令和 2 年 11 月 30 日現在登録者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンク協力事業者 32 事業者（宅地建物取引業者）</li> <li>・空き家相談協力員 44 人 （弁護士 6 人、税理士 1 人、司法書士 1 人、宅地建物取引士 36 人）</li> </ul> <p>(3)空き家対策に関する P R 動画（3 本）の制作</p> <p>【概要】：空き家対策に関する P R 動画を制作し、インターネット（空き家ポータルサイト等）で配信する。</p> <p>【実績】：動画① 空き家利活用促進編 ～DIY がとまらない美容室～ 動画② 空き家利活用促進編 ～空き家が都市型ワイナリー！？～ 動画③ 空き家利活用促進編 ～築 80 年 古民家の再生～</p> </div>

	(参考：令和2年度の取組) ・空き家の実態調査（柏崎、湊地区） ・データベースの作成 ・ポータルサイトによる空き家情報の提供 ・空き家対策事業に関する PR 総事業費：45,000 千円					
K P I	KPI	事業開始前	H30 年度 増加分	R1 年度 増加分	R2 年度 増加分	KPI 増加分の 累計
	空き家解消件数 (件)	0	7 0	11 2	20 —	38 2
	空き家ポータルサイト アクセス数 (PV)	0	50,000	20,000	20,000	90,000
			8,081	86,128	—	94,209
※上段：目標値 下段：実績値						
担当部署 評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった					
担当部署 評価理由	平成 31 年 3 月の運営開始以降、空き家ポータルサイト「はちのへ空き家ずかん」のアクセス数は順調に増加しており、空き家対策に関する PR 動画を公開するなど認知度の向上に努めた結果、KPI の PV については目標値を上回り、空き家問題への住民意識の醸成が一定程度図られたものと考えられる。 一方、空き家解消件数については、目標値の達成には至らなかったものの、空き家バンクに掲載された物件が成約に至るなど、空き家解消の成果が出始めていることから、事業の成果が着実に現れてきているとみなせるため。					

## 2. 本事業の「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における位置付け及び KPI

### 基本目標 2 新しい人の流れをつくる

#### 【施策 1】移住・人材還流・若者定着の促進

#### 個別施策① 移住・UIJ ターンの促進

#### ○社会増減率（数値目標）

八戸市（各年集計）

H27(実績)	H28(実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2
-0.34%	-0.36%	-0.30%	-0.49%	<b>-0.36%</b>	現状より改善

※太枠内が最新の調査結果、R2 が目標値です。

#### ○八戸市無料職業紹介所等における UIJ ターン就職者数（KPI）

八戸市（各年度集計）

H27(実績)	H28(実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2
4 人	8 人	41 人	37 人	<b>28 人</b>	50 人

※太枠内が最新の調査結果、R2 が目標値です。

### 3. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ① 地方創生に非常に効果的であった
- ② 地方創生に相当程度効果があった
- ③ 地方創生に効果があった
- ④ 地方創生に対して効果がなかった

委員メモ欄
-------

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

## No.5 はちのへマチナカ活性化プロジェクト（推進）

### 1. 事業概要

担当部署：八戸ポータルミュージアム、  
新美術館建設推進室、観光課

目的	「はっち」、「八戸ブックセンター」、「マチニワ」と併せて、令和 3 年度には「八戸市新美術館」が開館予定であり、半径 200 メートル以内に文化関連施設が集積しているという立地条件を活かし、「稼ぐ文化」を実践するための様々な施策を総合的に展開し、市民の文化力向上と地域経済活性化の両方を達成することを目的とする。
事業期間	平成 30 年度～令和 2 年度（3 年間） ※横展開タイプ
令和元年度実績額	総事業費：19,679 千円（うち国費：9,839 千円）
交付金事業の取組及び実績	<p>【参考】 （平成 30 年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広場ニストを中心とした各種シンポジウムやワークショップ、マチニワ企画コンペ等</li> <li>・まちあるきガイドの外国人観光客対応力向上を図るための育成</li> <li>・中心市街地賑わい創出の企画立案、P R 等に関する映像の制作等</li> <li>・ディレクション業務委託、V I ディレクションデザイン業務委託</li> <li>・八戸の食や八戸圏域の特産品等を出店する「マチニワマルシェ」を開催</li> <li>・マチニワ、ガーデンテラスと隣接するみろく横丁と連携したイベント実施</li> <li>・マチニワオープニングイベント等</li> <li>・観光展示リニューアル事業</li> <li>・多言語版八戸観光ガイドマップ作成</li> <li>・八戸三社大祭多言語対応スマートフォン対応アプリ開発</li> </ul> <p style="text-align: right;">総事業費：36,015 千円</p> <p>【令和元年度の取組】</p> <p><b>① マチニワアドバイザー事業【八戸ポータルミュージアム】</b></p> <p>【概要】：広場ニストを招聘し、「マチニワ」の活用を中心に、中心市街地活性化に関する企画の立案、実施を行う。</p> <p>【実績】：4 月～3 月に 18 回、延べ 51 日アドバイザー業務を実施</p> <p>【事業費】：1,980 千円</p> <hr/> <p><b>② マチニワワークショップ事業【八戸ポータルミュージアム】</b></p> <p>【概要】：広場ニスト・マチニワアドバイザーを講師に、マチニワの活用策について「多様な世代」や「多彩な分野」の方々からの意見・提案を開館後の運営方法に活かすため、市民ワークショップを開催する。</p> <p>【実績】：令和元年 7 月 20 日（土） 出席者：10 名 令和元年 12 月 14 日（土） 出席者：約 20 名</p> <p>【事業費】：73 千円</p>

**③マチニワ企画コンペ事業【八戸ポータルミュージアム】**

【概要】：八戸まちなか広場 マチニワを活用して実施するイベント等を市民から募集し、  
賑わい創出が見込めるイベント等へ対して補助金を交付する。

【実績】：対象事業 4件

【事業費】：820 千円

**④まちあるきガイドの外国人観光客対応力向上事業【観光課】**

【概要】：外国人観光客対応力向上を図るため、外国人と接する機会を有している方を  
対象とした「まちあるきガイド」育成事業を実施する。

【実績】：VISIT はちのへにおいて、外国人観光客受入体制整備に詳しい専門家との情  
報交換を実施

【事業費】：3 千円（会場借上料）

**⑤新美術館整備ディレクション業務【新美術館建設推進室】**

【概要】：新美術館整備にあたり、開館後の事業内容及び運営の方向性の検討や、開  
館に向けて市民の機運を醸成する上で効果的なプレ事業の企画などについて、  
専門家にディレクションを依頼することにより、開館に向けた準備を円滑に行う。

【実績】：派遣回数 35 回

【事業費】：3,113 千円

**⑥新美術館VIディレクション・デザイン業務【新美術館建設推進室】**

【概要】：新美術館のイメージを形成するVI（ビジュアル・アイデンティティ）をデザインし、  
サイン計画やピクトグラム設計を行う。

【実績】：新美術館サイン整備計画書を作成

【事業費】：6,820 千円

**⑦マチニワマルシェ事業【八戸ポータルミュージアム】**

【概要】：八戸の食や八戸圏域の特産品等を来店する「マチニワマルシェ」を開催する。

【実績】：実施日：令和元年9月7日（土）～8日（日）

出店者：20 店舗

入場者：約 1,500 名

【事業費】：1,512 千円

**⑧アートの学び事業【新美術館建設推進室】**

【概要】：地元大学と連携し、アートビジネス事業や新コンテンツの開発等を実施。八戸市新美術館のオープン後の大学連携事業に繋げるとともに、「稼ぐ文化」に向けた事業を展開する。

【実績】：○出張アトイズ開催（5回） 延べ 98 名参加

○アートビジネスシンポジウム開催（令和元年 11 月 30 日） 67 名参加

○社会人のアトイズ「アートワークカフェ」開催（令和元年 12 月 14 日）  
10 名参加

○アートビジネスワークショップ開催（2回） 延べ 27 名参加

【事業費】：2,343 千円

**⑨新美術館空間構成アドバイザー業務【新美術館建設推進室】**

【概要】：新美術館空間構成アドバイザー（インストーラー）が、新美術館に必要な備品の選定、展示空間構成の検討等に際して支援を行うことにより、利用者にとって快適で使い勝手の良い「学び」スペースと、高い芸術性と話題性のある企画展の提供を同時に達成できる空間を整備し、来館者の増加に繋げていくとともに、中心市街地活性化の拠点として機能させるものである。

【実績】：派遣回数 8回

【事業費】：1,300 千円

**⑩回遊性の向上、コト（時間消費）、繋げる活動【八戸ポータルミュージアム】**

【概要】：マチニワ、はっち、ガーデンテラス、八戸ブックセンターやみろく横丁等、中心街の主な施設や事業者と相乗効果を図るための、各種イベントを実施する。

【実績】：マチニワバルーン装飾や、クリスマスマーケット in マチニワ 2019 を開催

【事業費】：1,713 千円

（参考：令和 2 年度の取組）

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| ・マチニワアドバイザー事業   | ・賑わい創出イベント       |
| ・マチニワワークショップ    | ・マチニワ内装飾         |
| ・マチニワ活用事業補助金    | ・新美術館運営ディレクション業務 |
| ・インバウンド対応人材育成事業 | ・新美術館展覧会企画事業     |
| ・新美術館展示空間デザイン業務 | ・はっち観光展示リニューアル   |
| ・マチニワマルシェ       | ・新美術館広報物デザイン業務   |
| ・新美術館アートの学び事業   | ・新美術館広報業務        |

総事業費：42,798 千円

K P I	KPI	事業開始前	H30 年度 増加分	R1 年度 増加分	R2 年度 増加分	KPI 増加分の 累計
	中心市街地の歩行者通行量 (人)	47,511	5,800	5,900	6,000	17,500
			5,720	-4,331	—	1,389
	八戸ポータルミュージアムはっちと八戸ブックセンターの合計入館者数 (人)	1,123,000	5,660	5,760	5,780	17,200
-123,007			-74,879	—	-197,886	
※上段：目標値 下段：実績値						
担当部署 評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった					
担当部署 評価理由	KPI 達成状況は芳しくなかったものの、「稼ぐ文化」を実践するための様々な事業を実施でき、市民の文化力向上と地域経済活性化の両方を達成するための取組が前進したとみなせるため。					

## 2. 本事業の「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における位置付け及び KPI

基本目標 2 新しい人の流れをつくる

【施策 2】アート・スポーツ・中心市街地活性化による交流拡大

個別施策③ 中心市街地のにぎわい創出

○社会増減率 (数値目標)

八戸市 (各年集計)

H27(実績)	H28(実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2
-0.34%	-0.36%	-0.30%	-0.49%	<b>-0.36%</b>	現状より改善

※太枠内が最新の調査結果、R2 が目標値です。

○中心市街地の歩行者通行量 (K P I)

八戸市 (各年特定の平日・休日の 2 日間)

H27(実績)	H28(実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2
51,956 人	47,511 人	57,939 人	53,231 人	<b>48,900 人</b>	65,000 人

※太枠内が最新の調査結果、R2 が目標値です。

## 3. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった



委員メモ欄

(評価の凡例：選択肢)

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

## No.6 蕪島エントランス整備事業（拠点）

### 1. 事業概要

担当部署：観光課

目的	<p>三陸復興国立公園の北の玄関口である蕪島地区において、地域の特産品や土産品等の販売のほか、休憩もできる憩いの空間としての蕪島物産販売施設を整備することで、蕪島地区での滞在時間の延長、地域の賑わいの創出及び地域経済の振興を図ることを目的とする。</p> <p>また、令和2年3月に、当市を代表する観光スポットである蕪嶋神社の再建工事が完了し、令和2年5月に物産販売施設がオープンした。観光入込客数の増加、地域経済活性化等の相乗効果を図ることで年間10万人以上の集客を目指す。</p>																													
事業期間	令和元年4月～令和2年3月																													
令和元年度実績額	<p>総事業費：126,874千円          (うち国費：拠点整備交付金61,960千円、推進交付金1,477千円)</p>																													
交付金事業の取組及び実績	<p>【令和元年度の取組】</p> <p><b>蕪島地区販売施設新築工事【観光課】</b></p> <p>【概要】：物販機能、飲食提供機能、休憩機能を持つ物産販売施設を整備する。</p> <p>【実績】：令和2年3月26日竣工</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年5月11日供用開始</p> <p>【事業費】：126,874千円</p>																													
K P I	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前</th> <th>R1年度 増加分</th> <th>R2年度 増加分</th> <th>R3年度 増加分</th> <th>KPI増加分の 累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蕪島地区物産販売 施設売上金額 (千円)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>25,000</td> <td>1,000</td> <td>26,000</td> </tr> <tr> <td>観光入込客数 (蕪島地区) (人)</td> <td>155,000</td> <td>0</td> <td>100,000</td> <td>5,000</td> <td>105,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上段：目標値 下段：実績値</p>						KPI	事業開始前	R1年度 増加分	R2年度 増加分	R3年度 増加分	KPI増加分の 累計	蕪島地区物産販売 施設売上金額 (千円)	0	0	25,000	1,000	26,000	観光入込客数 (蕪島地区) (人)	155,000	0	100,000	5,000	105,000			0	—	—	0
KPI	事業開始前	R1年度 増加分	R2年度 増加分	R3年度 増加分	KPI増加分の 累計																									
蕪島地区物産販売 施設売上金額 (千円)	0	0	25,000	1,000	26,000																									
観光入込客数 (蕪島地区) (人)	155,000	0	100,000	5,000	105,000																									
		0	—	—	0																									
担当部署 評価	<p><input type="checkbox"/>①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/>③地方創生に効果があった</p> <p><input type="checkbox"/>②地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/>④地方創生に対して効果がなかった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑤効果の有無はまだわからない</p>																													
担当部署 評価理由	令和元年度は工事期間であり、施設整備の効果を計測できないため。																													

## 2. 本事業の「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における位置付け及びKPI

基本目標 1 多様な就業機会を創出する

【施策 1】 地域産業の成長・発展

個別施策③販路の拡大と八戸港の物流機能の強化

○製造品出荷額等（数値目標）

八戸市（各年集計）

H27(実績)	H28(実績)	H29（実績）	H30（実績）	R1	R2
5,127 億円	5,380 億円	5,341 億円	5,691 億円	(R3 調査)	5,050 億円

※太枠内が最新の調査結果、R2 が目標値です。

基本目標 2 新しい人の流れをつくる

【施策 3】 八戸ツーリズムの推進

個別施策①観光ブランドの強化と誘客の推進

○観光入込客数（数値目標）

八戸市（各年度集計）

H27(実績)	H28(実績)	H29（実績）	H30（実績）	R1（実績）	R2
691 万人	663 万人	661 万人	639 万人	654 万人	740 万人

※太枠内が最新の調査結果、R2 が目標値です。

## 3. 委員による評価

本事業において、令和元年度は工事期間であり、当該事業が KPI 達成に効果があったか検証することが難しいため、令和元年度の委員による評価はしないことといたしますが、ご意見等があればお受けいたします。

委員メモ欄